

第2回 雇用政策研究会論点(案)

(新規学卒者の年代間格差の是正)

○ 大卒者の就職率が、就職活動期の雇用情勢に大きな影響を受けることによる年代間の格差については、どのような是正の方策が考えられるか。景気の波による就職活動への影響を如何になくしていくべきか。

(新規学卒者と求人とのミスマッチ等の解消)

○ 新規学卒者と求人の間に見られる

- ① 企業規模別の求人倍率の格差
- ② 大学ごとの就職率の格差
- ③ 通学する学部による就く職業の差、就職率の格差

といった問題については、どのような是正の方策が考えられるか。大学進学率が高まる中で、大学生の就職支援は如何にあるべきか。

(企業が求める人材の確保)

○ 企業が求める人材像と、未就職で卒業を余儀なくされる者の能力については、どのような方法によって接続していくことが望ましいか。具体的な方策は考えられるか。学校教育をより産業が求める能力を習得できるものとしていくにはどのような方策が考えられるか。

(就労に対する理解の向上)

○ 職業意識・理解の向上のためのキャリア教育の推進、企業理解のためのインターンシップの活用等にあたり、具体的にどのような方策が考えられるか。また、推進にあたり、留意すべき事項はあるか。

(新卒一括採用システムの評価と、未就職卒業がその後のキャリアの固定化を招く状況の改善)

○ 失業率低下に寄与する新卒一括採用システムのメリットを活かしつつ、新卒時に就職できなかった世代がフリーター等に固定化してしまうという問題点を解決するために、具体的にどのような方策が考えられるか。

※ 「グローバル人材」関係については、委託調査の報告においても触れることとなるが、主に次回以降の議論で取り上げることとしたい。